

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 東レ株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 3402 URL <http://www.toray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榊原 定征

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 前田 一郎

TEL 03-3245-5175

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	979,818	△16.2	20,184	△53.2	△7,270	—	△19,446	—
21年3月期第3四半期	1,168,950	—	43,137	—	33,639	—	5,480	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△13.90	—
21年3月期第3四半期	3.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,530,884	503,832	29.9	326.76
21年3月期	1,523,603	512,610	30.8	335.04

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 457,266百万円 21年3月期 468,861百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
22年3月期	—	2.50	—		
22年3月期 (予想)				2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	△8.3	40,000	11.1	8,000	△61.0	△10,000	—	△7.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 1,401,481,403株 21年3月期 1,401,481,403株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,084,396株 21年3月期 2,057,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 1,399,412,111株 21年3月期第3四半期 1,399,775,538株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～12月31日）の世界経済は、各国政府による大規模な経済対策の効果などによって昨年初めの大幅な落ち込みから徐々に持ち直しました。日本では4～6月期から、米国や欧州も7～9月期から実質GDP成長率が前期比プラスに転じ、減速していた中国の成長率も7～9月期以降、伸びを高め、景気は依然低水準とはいえ最悪期を脱して緩やかながら回復の基調をたどり始めました。

このような事業環境の中で、当社グループは昨年4月から新たな中期経営課題“プロジェクトI T-Ⅱ（Innovation TORAY Ⅱ）”をスタートさせて、トータルコストの抜本的削減や「売り抜き」による収益極大化、設備投資の圧縮や運転資本の削減などによるキャッシュ・フローの改善に取り組んでいます。

こうした結果、当社グループの業績は月を追って回復に向かい、当第3四半期（平成21年10月1日～12月31日）には、連結売上高はほぼ前年同期並み（1.7%減）の3,619億円、連結営業利益は同18億円増（14.4%増）の147億円となりました。

当第3四半期連結累計期間（9ヶ月累計）では、一昨年秋以来の世界的な需要の落ち込みの影響が依然として大きく、連結売上高は前年同期比16.2%減の9,798億円、営業利益は、需要の減少に対応した在庫水準適正化のための減産を継続したこともあり同53.2%減の202億円となりました。また、持分法投資損失を第3四半期に計上したことなどもあり、経常損益は前年同期比409億円減の73億円の損失、四半期純損益は同249億円減の194億円の損失となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

【繊維事業】

繊維事業は、国内では、衣料用途は一部縫製品を除き不振が継続しましたが、産業用途は自動車用途を中心に需要が回復基調をたどり、月を追って出荷は上向きとなりました。海外では、韓国のポリエステル長繊維事業や中国の不織布事業に加え、タイ及びチェコのエアバッグ用原糸・織物事業なども数量を拡大しました。繊維事業全体で、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12.4%減の3,963億円、営業利益は同30.5%減の69億円となりました。

【プラスチック・ケミカル事業】

プラスチック・ケミカル事業でも、需要が回復基調をたどり、マレーシアの樹脂事業やハイブリッドカー向けコンデンサー用フィルム事業などが数量を拡大しました。プラスチック・ケミカル事業全体で、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比23.2%減の2,427億円、営業利益は同57.9%減の45億円となりました。

【情報通信材料・機器事業】

情報通信材料・機器事業は、中国や日本の消費刺激策の効果等もあり、フラットパネルディスプレイや電子部品向け材料などで、前年度後半に大幅に落ち込んだ需要の回復が進みました。情報通信材料・機器事業全体で、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10.6%減の1,676億円、営業利益は同19.7%減の103億円となりました。

【炭素繊維複合材料事業】

炭素繊維複合材料事業では、世界的な景気悪化の影響により需要が落ち込んでおり、足元ではスポーツ用途を中心に回復の兆しはあるものの、航空宇宙用途、一般産業用途を含めた全体で出荷は低調に推移しました。当社グループは、環境問題への関心の高まりの中で需要の本格的拡大が見込まれるエネルギー関連用途や自動車用途などの重点領域を中心に、開発や拡販に積極的に取り組んでいます。短期的には、サプライチェーン全体での在庫調整が継続していることから、各生産拠点で減産を実施しました。炭素繊維複合材料事業全体で、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比36.0%減の352億円、営業損益は同114億円減の28億円の損失となりました。

【環境・エンジニアリング事業】

環境・エンジニアリング事業では、逆浸透膜の荷動きが堅調に推移し、また水処理エンジニアリング子会社の業況が改善した一方、国内子会社の建設事業やエンジニアリング事業の業況が低調に推移しました。環境・エンジニアリング事業全体で、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比14.8%減の943億円、営業利益は同51.4%減の2億円となりました。

【ライフサイエンスその他】

医薬・医療事業では、昨年3月に販売を開始した血液透析患者における経口そう痒症改善剤“レミッチ®”が順次拡大するとともに、人工腎臓も販売量を伸ばしました。ライフサイエンスその他の全体では、国内商事子会社の取り扱い高や分析サービス子会社の受注高が低迷したことなどから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7.8%減の435億円、営業利益は同75.5%減の2億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、資産の部では、棚卸資産が減少したものの受取手形及び売掛金が増加したことを主因に、流動資産が前連結会計年度末比208億円増加しました。一方、有形固定資産や投資有価証券の減少を主因に固定資産は同135億円減少しました。資産合計では同73億円増加の1兆5,309億円となりました。

負債の部は、有利子負債の増加を主因に、負債合計で前連結会計年度末比161億円増加の1兆271億円となりました。

純資産の部は、四半期純損失の計上や配当金の支払いによる利益剰余金の減少を主因に純資産合計で前連結会計年度末比88億円減少の5,038億円となり、このうち自己資本は4,573億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

これまでの景気回復は各国の経済対策の効果によるところが大きく、物価の持続的下落や厳しい雇用情勢の中で為替相場や資源価格の変動が景気を下押しする可能性もあり、民需主導による自律的かつ持続的な回復に移行できるかどうかは依然展望しにくい状況にあります。基本的には、今後とも内外の経済は緩やかな持ち直し傾向が続くものと見込まれます。

このような事業環境の下、当社グループは引き続き“プロジェクトI T-Ⅱ”に基づいてトータルコスト競争力強化や事業体制の革新、成長戦略の推進に取り組み、収益基盤の強化に努めてまいります。

当連結会計年度通期の業績につきましては、“プロジェクトI T-Ⅱ”の下で、徹底的なコスト削減や拡販による数量拡大をはじめとする収益改善の取り組みを進めていること等を踏まえ、昨年11月2日に発表した予想値を修正し、連結売上高1兆3,500億円、営業利益400億円、経常利益80億円、当期純損失100億円を予想しております。なお、1月以降の為替レートは90円／ドルを想定しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,461	62,290
受取手形及び売掛金	265,216	220,129
商品及び製品	146,109	175,572
仕掛品	91,614	86,524
原材料及び貯蔵品	55,519	57,866
その他	48,838	55,871
貸倒引当金	△2,064	△2,368
流動資産合計	676,693	655,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	187,151	186,109
機械装置及び運搬具（純額）	248,913	259,741
土地	70,369	69,863
建設仮勘定	57,366	62,312
その他（純額）	17,452	18,236
有形固定資産合計	581,251	596,261
無形固定資産	9,963	10,519
投資その他の資産		
投資有価証券	152,389	156,188
その他	113,613	107,646
貸倒引当金	△3,025	△2,895
投資その他の資産合計	262,977	260,939
固定資産合計	854,191	867,719
資産合計	1,530,884	1,523,603

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,591	150,159
短期借入金	116,258	128,194
1年内返済予定の長期借入金	16,020	13,303
コマーシャル・ペーパー	82,000	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	40,000
未払法人税等	3,715	6,539
引当金	9,349	15,212
その他	92,019	87,350
流動負債合計	482,952	460,757
固定負債		
社債	140,000	150,000
長期借入金	311,911	306,120
退職給付引当金	67,097	66,882
その他の引当金	5,792	6,135
その他	19,300	21,099
固定負債合計	544,100	550,236
負債合計	1,027,052	1,010,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,937	96,937
資本剰余金	85,802	85,802
利益剰余金	326,819	353,222
自己株式	△1,136	△1,123
株主資本合計	508,422	534,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,394	9,649
繰延ヘッジ損益	△398	△423
為替換算調整勘定	△72,152	△75,203
評価・換算差額等合計	△51,156	△65,977
少数株主持分	46,566	43,749
純資産合計	503,832	512,610
負債純資産合計	1,530,884	1,523,603

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,168,950	979,818
売上原価	951,354	809,081
売上総利益	217,596	170,737
販売費及び一般管理費	174,459	150,553
営業利益	43,137	20,184
営業外収益		
受取利息	1,098	492
受取配当金	2,230	1,546
持分法による投資利益	2,529	—
雑収入	3,719	3,278
営業外収益合計	9,576	5,316
営業外費用		
支払利息	8,767	7,034
持分法による投資損失	—	15,960
雑損失	10,307	9,776
営業外費用合計	19,074	32,770
経常利益又は経常損失(△)	33,639	△7,270
特別利益		
有形固定資産売却益	588	308
投資有価証券売却益	1,662	109
特別利益合計	2,250	417
特別損失		
有形固定資産処分損	3,295	3,320
減損損失	—	2,018
投資有価証券評価損	10,111	2,194
関係会社事業損失	5,186	311
たな卸資産評価損	1,194	—
その他	686	971
特別損失合計	20,472	8,814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,417	△15,667
法人税等	8,046	2,192
少数株主利益	1,891	1,587
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,480	△19,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	15,417	△15,667
減価償却費	63,600	56,005
減損損失	—	2,018
のれん償却額	△162	△83
退職給付引当金の増減額(△は減少)	553	116
受取利息及び受取配当金	△3,328	△2,038
支払利息	8,767	7,034
持分法による投資損益(△は益)	△2,529	15,960
有形固定資産処分損益(△は益)	2,707	3,012
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	8,677	2,096
売上債権の増減額(△は増加)	21,376	△43,955
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56,773	28,874
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,585	4,161
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,376	1,104
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,517	7,643
前払年金費用の増減額(△は増加)	△3,587	△1,266
その他	△4,762	△5,208
小計	19,512	59,806
利息及び配当金の受取額	6,286	4,165
利息の支払額	△8,871	△7,871
訴訟和解金の支払額	△2,631	—
法人税等の支払額	△15,406	△8,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,110	48,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,773	△46,269
有形固定資産の売却による収入	1,167	1,060
無形固定資産の取得による支出	△1,803	△1,409
投資有価証券の取得による支出	△11,119	△444
投資有価証券の売却による収入	2,891	786
その他	△2,179	△1,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,816	△47,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	32,534	△13,171
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	30,000	62,000
長期借入れによる収入	74,892	17,329
長期借入金の返済による支出	△13,220	△10,436
社債の償還による支出	△10,000	△40,000
配当金の支払額	△13,865	△6,929
少数株主への配当金の支払額	△301	△447
その他	△543	380
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,497	8,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,693	301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,878	9,194
現金及び現金同等物の期首残高	56,507	62,158
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,459	71,392

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンスその他	計	消去又は全	は社連	結
売上高											
外部顧客に対する売上高	452,213	316,254	187,447	55,046	110,759	47,231	1,168,950	-			1,168,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	645	22,550	5,500	614	36,709	14,228	80,246	(80,246)			-
計	452,858	338,804	192,947	55,660	147,468	61,459	1,249,196	(80,246)			1,168,950
営業利益	9,916	10,762	12,789	8,653	381	918	43,419	(282)			43,137

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンスその他	計	消去又は全	は社連	結
売上高											
外部顧客に対する売上高	396,327	242,749	167,603	35,249	94,344	43,546	979,818	-			979,818
セグメント間の内部売上高又は振替高	491	14,727	4,872	456	24,747	12,015	57,308	(57,308)			-
計	396,818	257,476	172,475	35,705	119,091	55,561	1,037,126	(57,308)			979,818
営業利益又は営業損失(△)	6,887	4,527	10,266	△2,795	185	225	19,295	889			20,184

各事業区分に属する主要な製品

事業区分は、製品の種類・性質、使用目的及び市場の類似性を考慮して行っております。

各事業区分に属する主要な製品は下記のとおりであります。

事業区分	主要製品
繊維事業	ナイロン・ポリエステル・アクリル等の糸・綿・紡績糸及び織編物、不織布、人工皮革、アパレル製品
プラスチック・ケミカル事業	ナイロン・ABS・PBT・PPS等の樹脂及び樹脂成形品、ポリオレフィンフォーム、ポリエステル・ポリプロピレン・PPS等のフィルム及びフィルム加工品、合成繊維・プラスチック原料、石膏、ゼオライト触媒、医・農薬原料等のファインケミカル、動物薬 (但し、下記「情報通信材料・機器事業」に含まれるフィルム・樹脂製品を除く。)
情報通信材料・機器事業	情報通信関連フィルム・樹脂製品、電子回路・半導体関連材料、液晶用カラーフィルター及び同関連材料、プラズマディスプレイパネル用材料、磁気記録材料、印写材料、情報通信関連機器
炭素繊維複合材料事業	炭素繊維・同複合材料及び同成形品
環境・エンジニアリング事業	総合エンジニアリング、マンション、産業機械類、環境関連機器、水処理用機能膜及び同機器、住宅・建築・土木材料
ライフサイエンスその他	医薬品、医療製品、分析・調査・研究等のサービス関連事業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：百万円)

	日 本	ア ジ ア	欧 米 他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	793,664	253,294	121,992	1,168,950	-	1,168,950
セグメント間の 内部売上高又は振替高	87,182	50,601	7,967	145,750	(145,750)	-
計	880,846	303,895	129,959	1,314,700	(145,750)	1,168,950
営 業 利 益	26,410	8,217	7,815	42,442	695	43,137

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	日 本	ア ジ ア	欧 米 他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	695,649	204,359	79,810	979,818	-	979,818
セグメント間の 内部売上高又は振替高	60,877	45,156	2,721	108,754	(108,754)	-
計	756,526	249,515	82,531	1,088,572	(108,754)	979,818
営業利益又は営業損失(△)	7,710	11,653	△ 458	18,905	1,279	20,184

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：百万円)

	ア ジ ア	欧 米 他	計
I. 海外売上高	351,995	198,314	550,309
II. 連結売上高			1,168,950
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	30.1%	17.0%	47.1%

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	ア ジ ア	欧 米 他	計
I. 海外売上高	289,346	128,094	417,440
II. 連結売上高			979,818
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	29.5%	13.1%	42.6%

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。